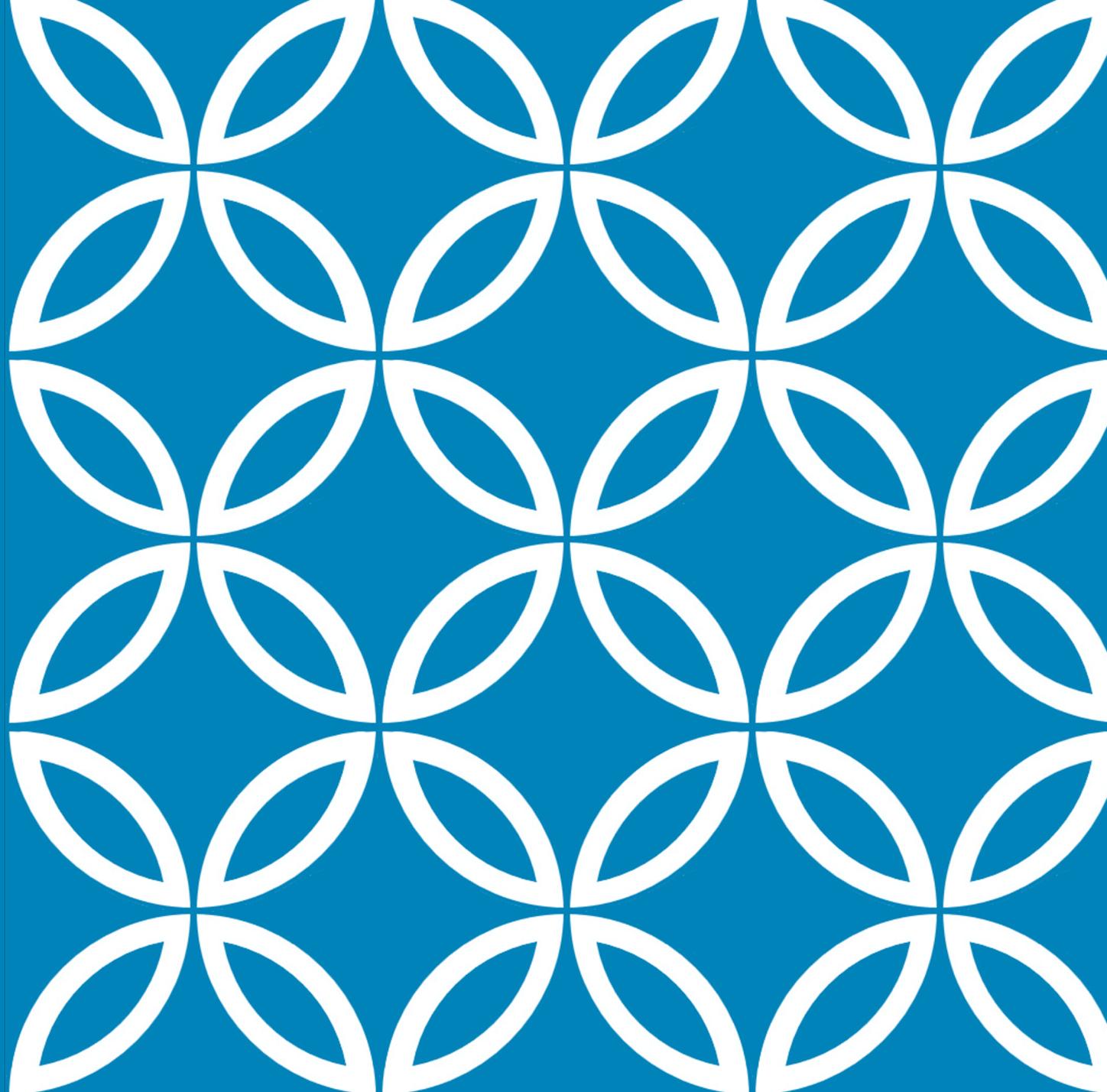


クラス内世論調査  
アンケート  
結果の分析

---

2020m999 北陸太郎



# 序論

## 調査テーマ

- スマホに関するアンケート

## 調査テーマ選定の理由

- 大学生が身近に持つスマホについて調べる
- どの機種が多いのか、どのキャリアが多いのか、また機種とキャリアの関係を明らかにしようと思った



# 調査方法



## 調査手法

Microsoft Formsを用いたアンケート調査  
情報リテラシーの授業課題として実施



## 調査期間

2020年7月1日～2020年7月3日



## 回答者数

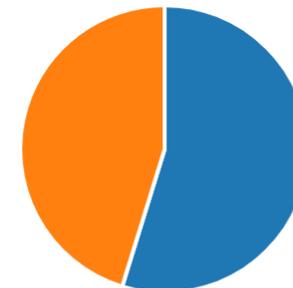
42人

# 結果（単純集計）

## 1. あなたのスマホの種類は？

詳細

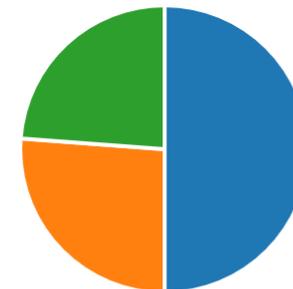
● iPhone	23
● Android	19



## 2. あなたの携帯キャリアは？

詳細

● ドコモ	21
● au	11
● ソフトバンク	10
● その他	0



## 3. 自分のスマホに満足していますか？

詳細

42  
応答

3.79  
数値の平均

# 結果（平均値の差の検定）

行ラベル	平均 / 自分のスマホに満足していますか？
Android	3.42
Phone	4.09
総計	3.79

t-検定：分散が等しくないと仮定した 2標本による検定		
	変数 1	変数 2
平均	3.421053	4.086957
分散	0.923977	0.719368
観測数	19	23
仮説平均との差異	0	
自由度	36	
t	-2.35569	
P (T<=t) 片側	0.012027	
t 境界値 片側	1.688298	
P (T<=t) 両側	0.024055	
t 境界値 両側	2.028094	

- Androidの満足度の平均は3.42、iPhoneの満足度の平均は4.09とiPhoneの方が高かった
- 平均値の差の検定の結果、p値（両側）は0.02だった
- 結論として、iPhoneユーザーの満足度の方が有意に高かった！

# 結果（一元配置の分散分析）

行ラベル	平均 / 自分のスマホに満足していますか？
au	3.27
ソフトバンク	3.80
ドコモ	4.05
総計	3.79

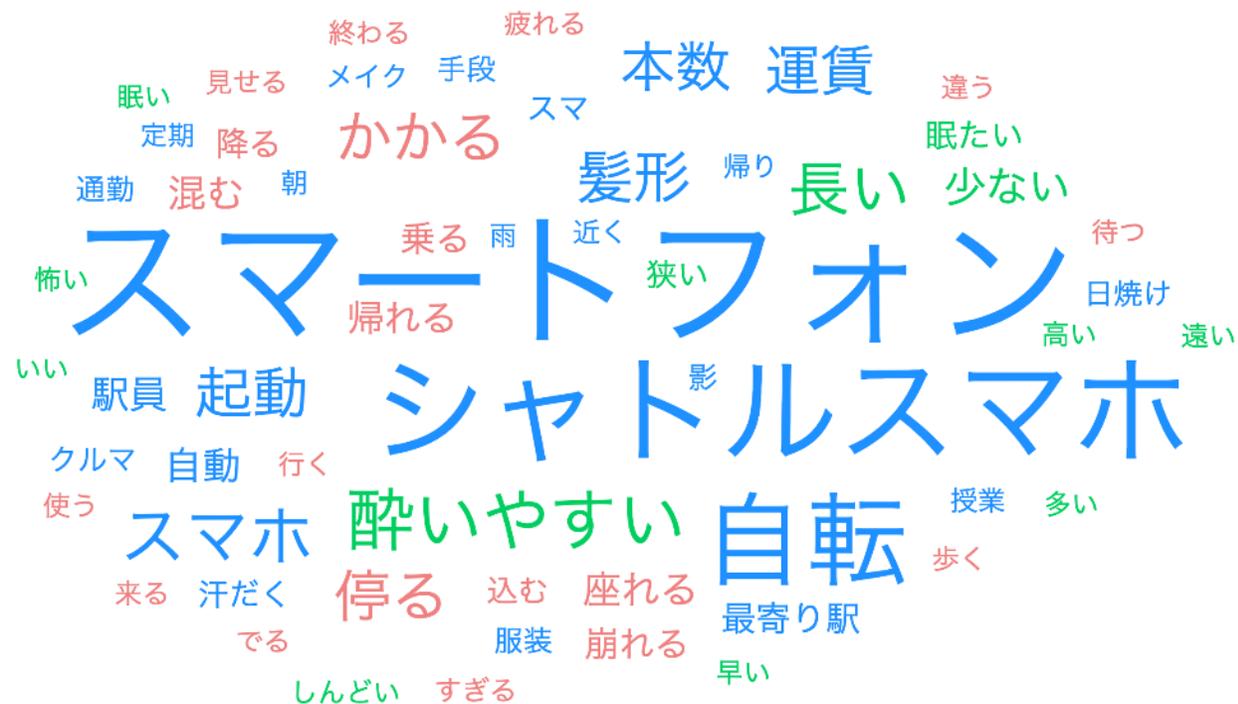
分散分析：一元配置						
概要						
グループ	データの個数	合計	平均	分散		
au	11	36	3.272727	0.418182		
ソフトバンク	10	38	3.8	1.288889		
ドコモ	21	85	4.047619	0.847619		
分散分析表						
変動要因	変動	自由度	分散	計算されたF値	P-値	F 境界値
グループ間	4.337229	2	2.168615	2.583719	0.088362	3.238096
グループ内	32.7342	39	0.839338			
合計	37.07143	41				

- auの満足度の平均は3.27、ソフトバンクは3.80、ドコモは4.05だった
- 一元配置の分散分析の結果、p値は0.09だった
- 結論として、3キャリアのユーザーの満足度に有意な違いはない

# 自由記述の結果

自分のスマホに満足していますか？

名詞では〇〇が多く、形容詞では△△が多かった。したがって、××であったことがうかがえる



# 結論（考察）

- 学生が身近に使うスマートフォンについてクラス内でアンケート調査を実施した
- その結果、iPhoneを使う学生が55%とやや多かった（Microsoft Formsの応答ページの円グラフの上にカーソルを載せるとパーセンテージが表示される）
- Androidユーザーの満足度の平均は3.42、iPhoneユーザーの満足度の平均は4.09で、とiPhoneの方が高かった
- 実際、平均値の差の検定をしてみるとp値（両側）は0.02であり、iPhoneユーザーの満足度は有意に高かった
- 自由記述のワードクラウドから、起動という名詞、遅いという形容詞がたくさん出ていることが分かったので、ユーザーは遅いということに不満をかんじている
- クラス内世論調査アンケートをMicrosoft Formsを使って実施し、結果をExcelで分析した。一連の作業をしてみて私の感想は.....

